

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-72	小学校	道 徳	道 徳	3 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 306 道徳 307	小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3	3 3	どうとくノート

## 1. 編修の基本方針

— 道徳科の時間を通して、子どもたちに「よりよく生きる力」を育みたい —

みずから心をひらき、考え、そして行動する

子どもたちの真の生きる力を育みたい

そのことが、ともによりよく生きていく喜びにつながるように……

私たちはこの教科書が、そのたすけとなることを心から願って編修しました。

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を実現するため、次のような基本方針で編修しました。

基本方針

1

**みずから考えたくなる！**

児童の主体的な学びをサポートします



基本方針

2

**授業に躍動感を！**

豊かな対話と学び合いのある道徳科の時間にします

基本方針

3

**社会に根ざした道徳教育を！**

いま・これからの社会的課題にしっかり対応し、深い学びを提供します

1 読み取りやすく興味を引く教材・紙面

(1) 感動・共感を呼ぶ教材の選定

物語からドキュメンタリーまで多様な教材をそろえています。感動とともに児童の経験を踏まえた思考を引き出すようにしました。

(2) 見やすく、親しみやすい大きな紙面

大きな判型（A B判）を採用し、大きなイラストや写真で、児童の興味・関心を惹きつけるようにしました。

(3) 学習をガイドするキャラクター

親しみやすいキャラクターが活躍して、児童にとって内容を身近に捉えやすくなるよう工夫しました。



(p.82～83)

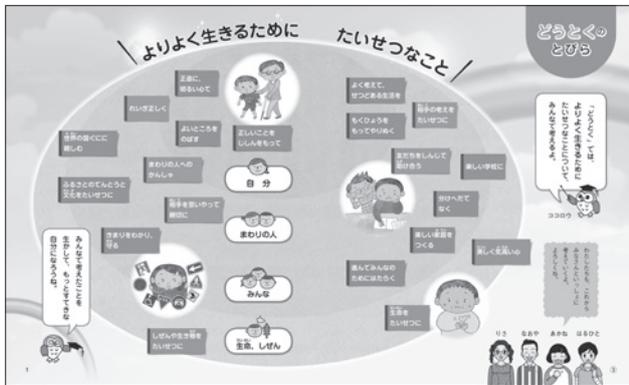


(p.112～113)

2 学びに見通しの持てる構成 —学習の意義や全体を見通した例示—

(1) ていねいでわかりやすいオリエンテーションページ

巻頭にオリエンテーションのページを設け、道徳科の意義や学び方などを、児童の発達の段階に応じてわかりやすく示しました。



(p. ③～1)

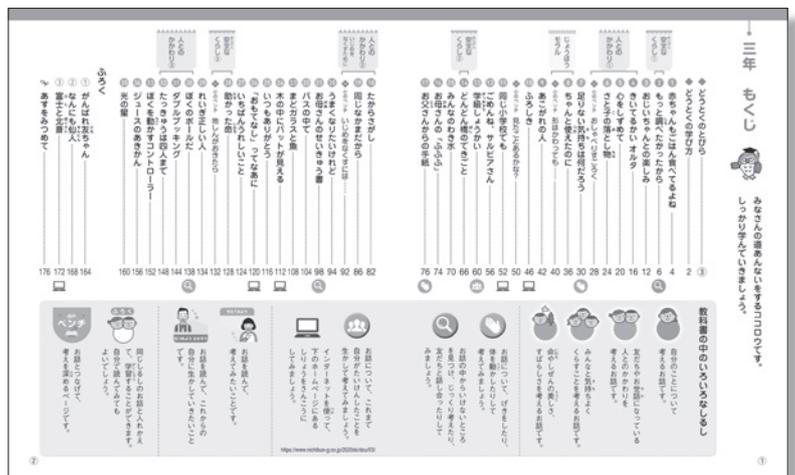


(p.2～3)

(2) 教材配列と見やすいもくじ

重要なテーマである「いじめの防止」について複数の教材を1つのまとまり（ユニット）とすることで、学級の状況に応じて、学習を集中的に展開できるようにしました。

また、もくじでは、「安全」「情報モラル」などのテーマについても教材名の上の欄にそれぞれ提示し、1年間の学習の全体像、系統性が一目でわかるよう工夫しました。



(p. ①～②)

**1 考えを引き出し、議論を活発にするために** —豊かな思考や議論を促す紙面要素—

児童が取り組みやすく、また教師が指導・評価しやすくなるように、紙面要素を適切に配置しました。児童が教材内容を素早く理解できるので、授業の中に思考や議論のための時間を作りやすくなります。

**5 考えてみよう**

教材のねらいに迫る発問例を児童が自発的に問いかける形で示しました。

**6 見つめよう 生かそう**

学習を通して考えたこと、わかったことを確かめたり、深く心に刻んだり、未来への思いや課題について考えたりするための発問例を示しました。



(p.16～19)

**1 主題名**

ねらいに対応した「主題」を端的に表しました。

**2 導入の発問例**

本時の導入に役立つ発問例を示しました。

**3 あらすじ**

児童の教材に対する理解を助けるために設定しました。

**4 主な登場人物**

教材に登場する主な登場人物を示して、児童が親しみを持てるようにしました。

**2 学習の手引き** —主体的、対話的で深い学び—

「問題解決的な学習」や「体験的な学習」の手法を用いるのに適した教材、および「多様な実践活動を生かす学習」に対応した教材の後ろには、児童の学びと教師の指導の参考例として「学習の手引き」を付けています。これにより、主体的、対話的で深い学びが展開できるとともに、特別活動等における多様な実践活動を生かした充実した学習ができるように工夫しました。

問題解決的な学習	もっと調べたかったから ぼくのボールだ	p.6～11 p.138～143
体験的な学習	足りない気持ちはなんだろう お父さんからの手紙 お母さんのせいぎゅう書	p.30～35 p.76～81 p.98～103
多様な実践活動を 生かす学習	学級しようかい	p.60～65



(p.10～11)

**3 学習や指導を充実させるために** —多面的、多角的な見方・考え方で、広げ、深め、心に刻む—

(1) コラム (心のベンチ)

コラム「心のベンチ」を適宜配置し、道徳的価値について、多面的、多角的な見方、考え方によってより広く深く、考えられるようにしました。道徳科以外の教育活動とも関連付けています。

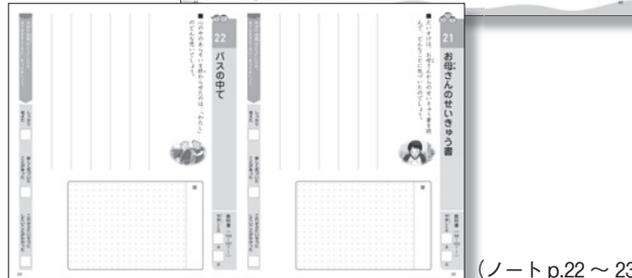
(p.40～41)



(2) 道徳ノート (別冊)

別冊の「道徳ノート」を付けました。道徳科の時間における児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握でき、指導や評価の参考にもなります。また、児童自らの成長の記録となり、保護者との連携も図れるようにしました。

新たに自由に書き込める欄を設けたので、児童が活用しやすくなりました。地域題材や学級状況に応じた指導にも対応できます。



(ノートp.22～23)

## 1 現代的・社会的課題への対応

下記の現代的・社会的な課題を重視して編修しました。

〔 〕はユニット

重点化した課題への対応

重点課題	道徳科の内容項目例	教材例
いじめの防止	善悪の判断, 自律, 自由と責任 個性の伸長 友情, 信頼 公正, 公平, 社会主義 相互理解, 寛容	・きいてるかい オルタ ・心をしずめて ・さと子の落とし物 ・たからさがし ・同じなかまだから ・ぼくのボールだ ・ダブルブッキング ・たっきゅうは四人まで
安全の確保 (防災, 防犯, 交通)	節度, 節制 生命の尊さ	・もっと調べたかったから ・どんだん橋のできごと ・助かった命
情報モラル	規則の尊重	・ちゃんと使えたのに
社会の持続可能な 発展	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 国際理解, 国際親善 自然愛護	・ごめんね, サルビアさん ・「おもてなし」ってなあに ・同じ小学校でも

その他の現代的・社会的な課題への対応

①「人権・福祉」について考える教材	・いちばんうれしいこと ・光の星
②「食育・健康」について考える教材	・赤ちゃんもごはん食べてるよね ・ぼくを動かすコントローラー
③「法教育」について考える教材	・まどガラスと魚
④「キャリア教育」について考える教材	・木の中にバットが見える ・なんにも仙人

## 2 特別支援教育への配慮 —すべての児童が等しく学べるように配慮

すべての児童が等しく学べるように、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点から次のように配慮しました。

- 1) 文字の大きさと書体、罫線や囲みの使い方、色使いなど、レイアウトを工夫し、判読しやすくしました。
- 2) 当該学年以上の漢字には、教材ごとにすべて振り仮名をつけました。

## 3 保護者への配慮 —家庭、地域との連携

「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えるとともに、道徳ノートの活用により、学校・家庭・地域の連携を図る手立てを提供しています。

## 4 系統性への配慮 —保・幼、小、中の連携

発達の段階を考慮し、保・幼、小連携（低学年）や、小、中連携（高学年）についても、教材の選定や表現方法、レイアウトにおいて工夫を加えました。

## 2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標と図書の構成・内容との対照について、各教材とその該当箇所を表示しました。

基本法第2条 (教育の目標)	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	オリエンテーション	豊かな情操と道徳心を培うため、道徳の授業がより有意義になるよう、意義と学び方を紹介しました。	p.③～3
	正直、誠実 23 まどガラスと魚	正直にできないときの苦しさについて深く考え、誠実な言動をとろうとする実践意欲を育てようとしてしました。	p.108～111
	節度、節制 14 どんどん橋のできごとほか 2,33	節度ある生活の大切さについて自ら気づき考えることによって、豊かな情操と道徳心を養おうとしてしました。	p.66～69 ほか
	希望と勇気、努力と強い意志 ① がんばれば友ちゃんほか 20	苦手なことを努力と強い意志でやり遂げた話をもとに、粘り強くやり抜こうとする態度を育てようとしてしました。	p.164～167 ほか
	感動、畏敬の念 35 光の星ほか ③	人の心にある美しいものや気高いものに気づき、それらに感動する心情を育てようとしてしました。	p.160～163 ほか
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	善悪の判断、自律、自由と責任 18 たからさがしほか 9, 31	自分が正しくないと思ったことを、周囲に流されず自信をもって行う判断力を養おうとしてしました。	p.82～85 ほか
	個性の伸長 4 きいてるかいオルタほか 16	ものの見方を変えることで、自分のよさに気づき、それを伸ばしていこうとする態度を養おうとしてしました。	p.16～19 ほか
	相互理解、寛容 5 心をしずめて	自分の考え方や感情にとらわれず、相手の気持ちを理解し、互いに尊重しようとする心情を養おうとしてしました。	p.20～23
	勤労、公共の精神 24 木の中にバットが見えるほか②	仕事に打ち込む姿から、働く意義と喜びを感じ取り、人のために働こうとする意欲や態度を育てようとしてしました。	p.112～115 ほか
	家族愛、家庭生活の充実 21 お母さんのせいきゅう書	自分の利益にこだわることの問題点を考え、家族の一員としての役割に気づき、家族を大切にしようという心情を育てようとしてしました。	p.98～103
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	親切、思いやり 27 いちばんうれしいことほか 3, 22	困っている人ややさしくしてくれた人の気持ちを考え、思いやりの大切さを知って、あたたかく接しようとする態度を養おうとしてしました。	p.124～127 ほか
	感謝 25 いつもありがとう	自分の周りには安全や生活を守ってくれる人がいることに気づき、感謝の心を持って生活しようとする態度を養おうとしてしました。	p.116～119
	礼儀 29 れいぎ正しい人ほか 7	心のこもった応対を通して、礼儀について考え、礼儀正しい挨拶や行動をしようとする態度を養おうとしてしました。	p.134～137 ほか
	友情、信頼 6 さと子の落とし物ほか 32	友だちの気持ちを考えて行動する大切さに気づき、友達と互いに信頼して助け合っていこうとする心情を育てようとしてしました。	p.24～27 ほか
	規則の尊重 8 ちゃんと使えたのにほか 15, 34	約束やきまりを守ることを理解し、それらを守って行動しようとする態度を養おうとしてしました。	p.36～39 ほか
	公正、公平、社会正義 19 同じなからだからほか 30	自分の気持ちの問題に気づき変化することで、誰に対しても偏見を持たずに公正、公平に接しようとする心情を育てようとしてしました。	p.86～91 ほか
	よりよい学校生活、集団生活の充実 13 学級しょうかい	学級のよさを探す喜びから、みんなで仲良く協力しあう学級を作っていこうとする態度を養おうとしてしました。	p.60～65
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命の尊さ 17 お父さんからの手紙ほか 1, 28	子どもの命を大切に思う親の気持ちを感じ取ることを通し、全ての生命を大切にしようとする態度を養おうとしてしました。	p.76～81 ほか
	自然愛護 12 ごめんね、サルビアさん	植物の世話を通して動植物を大切にすることを考え、自然に親しみ大切にすることを育てようとしてしました。	p.56～59
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 26 「おもてなし」ってなあにほか 10	日本の文化やおもてなしの心のよさや美しさに気づき、愛着とそのよさを守ろうとする心情を育てようとしてしました。	p.120～123 ほか
	国際理解、国際親善 11 同じ小学校でも	同じ小学校でも国によってようすが違うことから、それぞれの文化や生活の仕方に合わせていることを理解し、互いのよさを大切にしようとする心情を育てようとしてしました。	p.52～55

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-72	小学校	道 徳	道 徳	3 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 306 307	小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3	3 どうとくノート	

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 「よりよく生きる力」を育むために

一人ひとりの児童たちと、そこに寄り添う教師とが作り上げていく教科「特別の教科 道徳」。その実践を通して「よりよく生きる力」を育むことをサポートする教科書として、「学習指導要領」の主旨を踏まえ、特に次の点に意を用いて編修しました。

#### 特色 1

#### 授業の流れが見える

— 質の高い授業を保証する工夫として —

#### 1 発問例によって授業の流れが見える — 質の高い授業を保証する工夫として —

教材に応じて、授業の進行に沿った3つの発問の例を全教材に示しています。これらの発問例によって、教師にも児童にも授業の流れが見え、見通しをもって豊かな学習活動をおこなうことができます。

**考えてみよう**  
教材のねらいに迫るヒントとなる発問例です。

**見つめよう**  
学習を通して学んだこと、わかかったことを自発的に確かめ、活かしていくための発問例です。

**導入の発問例**  
教材に入り込むきっかけとなる発問例です。

18 たからさがし

今日の休み時間は、クラス遊びでなげばを遊べるようになった。まこと、りくお、かずき、ぼくの4人は「ゲーム会社」という学級の係をたて、たからさがしゲームをまていあんした。その前の休み時間に、学級のみんなは次のじゆぎょうのために図書室に行ったので、

ぼくらはたからものをすなげにうめることになつた。たからものは、スライパーボールを先生からかりて、色べつに「一三三二点。一点とて、グループで見つけたボールの合計どくをきまことにした。

スライパーボールのせいで、ボールがとれたまごが言った。  
「おつ、りようじくんの筆箱がつくえの上に出たまたま。これはずなげにうめて、ドッキリしてやらないか。」  
「そうだね。りようくんはかたづけが苦手、うっかりなくし物をするし、ちよつどの類なくつても気づかないよ。」  
「いいねえ。きつどうけるよ。」  
かずきがおどけてみせた。

(p.82 ~ 85)

#### 2 「学習の手引き」によって授業の流れが見える

指導方法を工夫することで、主体的・対話的な学習による「深い学び」が実現すると考えられる教材には、「学習の手引き」のページを用意しています。

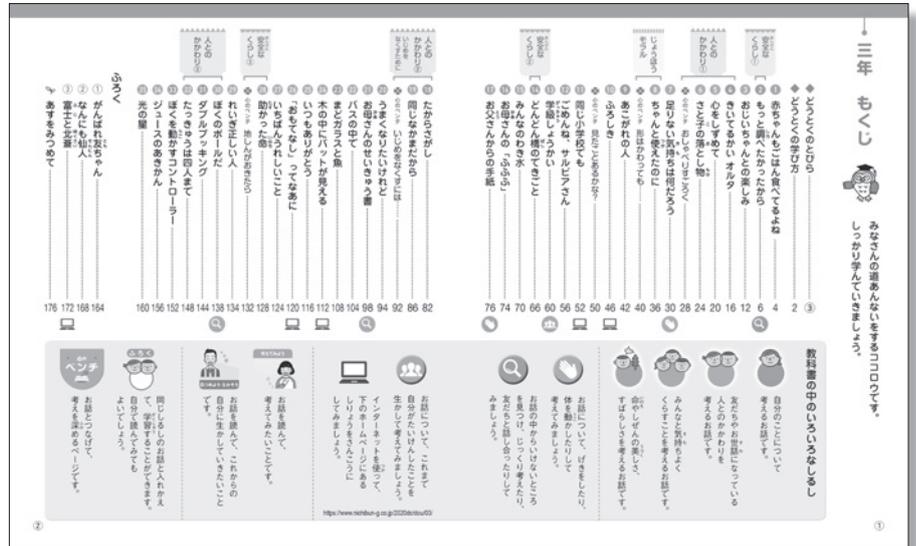
このページを参考にさせていただくことで、質の高い、多様な学習方法の具体例がわかり、問題解決的な学習、体験的な学習、さらに特別活動等を生かした学習に児童が主体的に取り組むことができるとともに、対話を通じた多様な見方、考え方にふれるなどして、深い学びを実現することができます。



**1 関連教材やコラムとのユニット構成 —毎学期に配置—**

「いじめの防止」は、重要なテーマとして、複数教材や関連するコラムをユニットとしてまとめて配列しています。また、毎学期にユニットを1つずつ配置して、重点的に扱えるようにしています。

ユニットには、いじめを直接的に扱った教材だけでなく、自己有用感や他者理解など、「いじめ」の克服につながる教材を組み合わせ、知的理解を補強するコラムとも関連させつつ、集中的に取り組めるようにしています。くり返し考え、対話を深めることで、児童自身にいじめを「しない」「させない」「見過ごさない」力をつけさせようとしてきました。



(p. ①～②)

**2 多様な学習活動を通して —多様な学び方を通してより確かな理解を—**

「学習の手引き」で、問題解決的な学習の手法（下図左）や、役割演技を用いた体験的な学習の手法（下図右）、多様な実践活動を生かした学習の手法を提案しています。このような学習活動の工夫から、「いじめの防止」の、より確かで深い理解につながることをめざしています。



(p.142～143)



(p.80～81)

**3 コラムを用いて —多面的・多角的に考える—**

教材に関連させて配置したコラム「心のベンチ」を手がかりにして、児童は「いじめの防止」について多面的・多角的に考えることができます。



(p.92～93)

**1 「道徳ノート」のねらいと効果** —各学年に1冊、各教材に1ページ—

「よりよく生きる力」を育むために、児童が「自分の成長」を実感できることを意図して、「道徳ノート」を付けました。このノートの活用によって、児童自身が自らを振り返り、自身の変容や成長を確認することができます。

また、1教材1ページで、指導の実践に即した構成とし、自由に書き込める欄を設けるなど、使いやすさに意を用いました。

「道徳ノート」を活用することで、次のような効果が期待できます。

◆児童にとって

- ◇自分自身の成長の様子を記録し、振り返ることができます。
- ◇児童が表現する場を保証することで、言語活動の充実が図れます。
- ◇自由書き込み欄

- 児童の思いを各々の表現方法や分量で書き表せます。
- 友達の意見を書き込むことにより、多面的・多角的な見方や考え方を育成することができます。
- 記録だけでなく、メモとして議論に備えることができます。

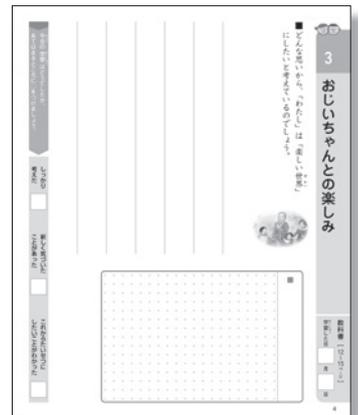
◇教科書に即した共通のノートを使うことで、「考え、議論する」土台を学級で共有できます。

◆教師にとって

- ◇児童の道徳性の成長の様子が把握できます。
- ◇1年間を通して学習状況を継続的に把握できます。→中長期的な大くくりの「評価」にも活用することができます。

◆保護者にとって

- ◇保護者記入欄の活用により、児童の成長へ関わることができます。
- ◇家庭と学校間の連携を円滑にします。



(ノート p.4)



(ノート p.40)

**1 各教科等との関連への配慮**

他教科や特別活動等との関連を巻末一覧表に明示しました。これにより、カリキュラムマネジメントの充実化に活用することができます。

テーマ	他教科等との関連	編集委員
伝統文化教育	音楽、社会	編集委員
いじめ対策	特活(学級活動)	編集委員
いじめ対策	特活(学級活動)	編集委員
安全教育	社会、特活(学級活動)	編集委員
安全教育	社会、特活(学級活動)	編集委員
安全教育	社会、特活(学級活動)	編集委員

(p. ④～⑤)

**2 デジタルコンテンツ**

—より効果的な授業をするための配慮—

○のアイコンが配置された教材には、授業の導入や展開で活用できる動画資料や、関連画像などを、ホームページ上にデジタル教材として準備しました。必要に応じて活用することで、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。



(p.46)

〔本教科書の特徴表〕

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	・教育基本法第2条の教育の目標を達成するため、特に次の3点を柱に編修しています。①みずから考えたい！、②授業に躍動感を！、③社会に根ざした道徳教育を！
		学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし、扱うべき内容項目はすべて扱い、重点事項や配慮事項を重視しています。
	公正性	公正性	・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分吟味・検証しています。
		正確性	・検定基準などに照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統	発達の段階への配慮		・児童の発達の段階を考慮した内容とし、1年間や6年間を通した系統性に配慮しました。また、「保・幼、小、中」の連携にも配慮しました。
	配列・分量		・オリエンテーション、本編教材、付録で構成し、適宜関連コラムを配置しています。 ・各学年の配当時間を実施する上で十分な教材数を配置しています。 ・他教科の学習や様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・学習計画や見通しが立てやすいよう一覧性のある目次としました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成		・オリエンテーションのページに道徳学習の意義や授業の流れをわかりやすく示していることで、学習意欲と主体的な学習態度の育成につながります。 ・児童に感動と共感を与え、興味・関心を高めるような多様な教材を用いました。 ・親しみやすいキャラクターの言葉が児童の学ぶ意識を高めます。
	多様な学習の実現（アクティブラーニング）		・オリエンテーションのページや自我関与を中心とした教材のほか、問題解決的な学習、体験的な学習、多様な実践活動を生かした学習の教材を配置しました。 ・児童が多様な学習に対応できるように、「学習の手引き」を問題解決的な学習、体験的な学習、多様な実践活動を生かした学習のページに例示しました。
	重点課題	現代的・社会的課題への対応	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全の確保（防災・防犯・交通安全）」「情報モラル」「社会の持続的発展」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。 ・特に「いじめの防止」に関しては、全学年で重要項目として扱い、各学年毎学期に関連教材をユニット化して配置しました。
		伝統文化の尊重と国際理解	・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに他国の文化にも興味・関心を持たせ、国際理解・親善に関心を促す教材を用意しました。
その他の現代的社会的な課題		・食育、キャリア教育などの社会的課題についても取り扱っています。	
その他	家庭学習への配慮		・「道徳ノート」（別冊）は家庭学習との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして伝え、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。
	地域教材の活用・開発		・児童にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
	他教科・活動との関連		・道徳教育の要としての特質に鑑み、各教材と道徳的内容で関連する他教科・活動を巻末に明示し、各教科等と関連付けた効果的な指導ができるようにしました。 ・これにより、カリキュラムマネジメントの充実化に役立つようにしました。
	特別支援教育への配慮		・すべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。
	デジタル教材の活用		・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。
	判型		・A B判を採用し、写真やイラストを大きくして児童の興味・関心を引きやすくしました。
	文字、印刷、製本		・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名をつけました。 ・書体は、児童に読みやすいように開発した教科書体を使用しました。 ・本文用紙は軽量化した再生紙とし、表紙はコート紙で美感を考慮する予定です。 ・植物油を用いて印刷し、堅牢なあじろ綴じ製本で開きやすくしました。

## 2. 対照表

### 第3学年

図書の構成				学習指導要領の内容項目とキーワード		配当 時数	配当 学期		
番号	ページ	教材名	主題名						
1	4～5	赤ちゃんもごはん食べてるよね	新しい命	D	生命の尊さ	1	一学期 12時間		
2	6～11	もっと調べたかったから	わかっていても、つい……	A	節度、節制	1			
3	12～15	おじいちゃんとの楽しみ	思いやりをもって	B	親切、思いやり	1			
4	16～19	きいてるかい オルタ	ほんとうはできる	A	個性の伸長	1			
5	20～23	心をしずめて	相手とわかり合って	B	相互理解、寛容	1			
6	24～27	さと子の落とし物	友だちを思って	B	友情、信頼	1			
7	30～35	足りない気持ちは何だろう	おたがいに気持ちよく	B	礼儀	1			
8	36～39	ちゃんと使えたのに	やくそくを守るということ	C	規則の尊重	1			
9	42～45	あこがれの人	思い切って	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1			
10	46～49	ふろしき	守りたい日本の文化	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1			
11	52～55	同じ小学校でも	ちがいがから	C	国際理解、国際親善	1			
12	56～59	ごめんね、サルビアさん	花の気持ちになって	D	自然愛護	1			
13	60～65	学級しょうかい	すばらしい学級をめざして	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	1			
14	66～69	どんどん橋のできごと	よく考えて	A	節度、節制	1	二学期 14時間		
15	70～73	みんなのわき水	みんなのために	C	規則の尊重	1			
16	74～75	お母さんの「ふいふ」	わたしのいいところ	A	個性の伸長	1			
17	76～81	お父さんからの手紙	命が生まれ育つこと	D	生命の尊さ	1			
18	82～85	たからさがし	やっぱり、やめよう	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1			
19	86～91	同じなかまだから	なかまをたいせつにすることは	C	公正、公平、社会正義	1			
20	94～97	うまくなりたいたけれど	がんばりがつづくのは	A	希望と勇気、努力と強い意志	1			
21	98～103	お母さんのせいきゅう書	家族できょうりょくし合うこと	C	家族愛、家庭生活の充実	1			
22	104～107	バスの中で	相手を思いやる心	B	親切、思いやり	1			
23	108～111	まどガラスと魚	自分に正直に	A	正直、誠実	1			
24	112～115	木の中にバットが見える	仕事へのねつい	C	勤労、公共の精神	1			
25	116～119	いつもありがとう	つたえたい言葉は	B	感謝	1			
26	120～123	「おもてなし」ってなあに	日本の心	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1		後期 19時間	
27	124～127	いちばんうれしいこと	思いやりの心	B	親切、思いやり	1			
28	128～131	助かった命	たいせつな命	D	生命の尊さ	1			
29	134～137	れいぎ正しい人	真心をもって	B	礼儀	1			
30	138～143	ぼくのボールだ	みんなが楽しく	C	公正、公平、社会正義	1			
31	144～147	ダブルブックイング	正しいと考えたことを	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1			
32	148～151	たつきゅうは四人まで	友だちの気持ちになって	B	友情、信頼	1			
33	152～155	ぼくを動かすコントローラー	よく考えて行動する	A	節度、節制	1			
34	156～159	ジュースのあきかん	気持ちよく生活するために	C	規則の尊重	1			
35	160～163	光の星	美しい心	D	感動、畏敬の念	1			
①	164～167	がんばれ友ちゃん	やろうと決めたことは	A	希望と勇気、努力と強い意志	-	-		-
②	168～171	なんにも仙人	はたらくよろこび	C	勤労、公共の精神	-	-		-
③	172～175	富士と北斎	感動する心	D	感動、畏敬の念	-	-		-
						計	35		
						ふろく	3		

#### [備考]

- ・表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第3章第2の内容についてを表す。Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を示す。
- ・番号①②③は補充教材としての「ふろく」を表しており、本文教材との代替性、補充性を目的に使用するため、配当時数には含めていない。